

令和3年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン  
第3学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<p>①漢字を正確に読み書きする力に課題がある。</p> <p>②書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係を意識して文章を構成することに課題がある。</p> <p>③文学的文章において、登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えることに課題がある。</p>	<p>①正確に読み書きすることができるように繰り返し指導する必要がある。</p> <p>②はじめ・中・終わりの構成の仕方を意識させ、順序立てて文章を構成できるようにする指導が必要である。</p> <p>③登場人物の、行動や会話、様子を探し、気持ちを想像することが必要である。</p>	<p>①新出漢字を学習する際に熟語、書き順や間違いやすい部分を細かく指導する。朝学習で、漢字練習の時間を設け、定着を図る。</p> <p>②書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくりながら、文章を構成させていく。構成のポイントを示し、児童自らが確かめられるようにする。</p> <p>③登場人物の心情が分かる言葉を探し、サイドラインを引かせ、その言葉から気持ちを想像させる。心情を表や図などにまとめることで、心情の変化を捉えられるようにする。</p>
社会	<p>①資料にある地図やグラフ等を読み取る学習に課題がある。</p> <p>②区の土地利用の様子を地形的な条件や社会的な条件と関連づけて考えることに課題がある。</p> <p>③様々な資料から、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける必要がある。</p>	<p>①地図やグラフを見て特徴を捉えさせる指導が必要である。</p> <p>②地図や資料を有効に活用し、調べたりまとめたりする中で事象や人々の生活を相互に関係づけて指導することが大切である。</p> <p>③どんな情報が必要かを考え、調べ選択して活用することができるようにする。</p>	<p>①方位は身体を使ったり、地図やグラフは指さしや印を付けたりとしながら1つずつ確認する。地図記号カードを使って繰り返し学習する。</p> <p>②調べたりまとめたりする中で、事象や人々の生活を相互に関係づけられるように、調べたことを比較、総合する等の視点を明確にし、考えを深めていく時間をとる。</p> <p>③情報の必要性を感じさせながら、具体的に例を示し、情報活用能力の育成を図る。</p>
算数	<p>①たし算、ひき算、かけ算など、基礎学力に個人差がある。</p> <p>②時刻と時間を求める問題解決能力に課題がある。</p> <p>③文章問題の題意を理解し解決することに課題がある。</p>	<p>①習熟度別学習を進め、基礎基本の定着を図る指導が大切である。</p> <p>②文字盤や数直線を用いて求め方を考えられるようにする指導が大切である。</p> <p>③問題で何を問われているかを文章からしっかりと捉える力を身に付ける指導が大切である。</p>	<p>①東京ベーシックドリルを活用したり、既習事項を宿題に出したりして、習熟を図る。</p> <p>②思考力を高めるために、電子黒板を有効に活用しながら指導していく。</p> <p>③題意を把握するために、問題を音読させ、分かっていることや求めることを明らかにする習慣を身に付けさせる。その際、既習の学習事項を生かした考え方を示したり、題意に即したテープ図の書き方を指導したりしながら、基礎的な知識や技能を身に付けさせる。</p>
理科	<p>①自然の事物・現象について、問題を見出すことに課題がある。</p>	<p>①自然の事物・現象に関心をもたせ、差異点や共通点を基に、問題を見出させることが大切である。</p>	<p>①体験的な学習を多く取り入れる。事象提示を工夫し、差異点や共通点を基に問題を見出すことができるようにする。</p>
音楽	<p>①曲想に合った歌い方を考えることに興味がある児童が多いが、根拠をもって表現の工夫をすることには個人差が見られる。</p>	<p>①音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについて考える活動を充実させ、表現に生かすことが必要である。</p>	<p>①体を動かしながら知覚・感受したり、児童同士で意見交換する中で考えを広げたりする。それらを根拠とし、試行錯誤しながら表現を工夫できるように指導する。</p>

図工	①身近な材料を使って自分たちの作品を楽しく表現することに変意欲的である。しかし技術面では、道具の使い方を正しく身に付け表現することに個人差がある。	①自分の発想を生かすことができるよう道具の基本的な扱い方や材料の工夫から表現できる指導を行うことが必要である。	①教師が道具の基本的な扱い方を毎時間丁寧に表示。各題材は以前に扱ったものについても、繰り返し取り扱い応用できる活動内容にする。必要な技術は全体に向けてICT機器を活用し、分かりやすくポイントを絞った指導をする。
体育	①基礎的な運動能力に個人差がある。 ②運動の仕方を考えたり工夫したりして取り組むことに課題がある。	①運動遊びを通して体の使い方を覚え、運動能力が身に付くよう指導していく必要がある。 ②工夫の仕方や安全な動き方について考えたり理解したりできるようになる指導が必要である。	①楽しみながら取り組める運動遊びの時間を計画的に設ける。 ②よい動きのポイントを示し、めあてをもたせて運動に取り組めるようにする。 ③コーディネーショントレーニングを取り入れる。 ④教師や友達の動きの真似をし、安全で楽しい動き方の工夫につなげることができるようにする。
総合的な学習の時間	①初めて学ぶ学習であるため、総合的な学習の時間の学び方を身に付けるまでに時間がかかる。	①学校生活を振り返ったり、身近にある地域の環境を活用したりして課題を見出せるよう、指導計画を立てることが大切である。 ②児童が学習に主体的・協働的に取り組んでいけるよう指導の工夫をすることが大切である。	①学習する事柄を通して、児童が主体的に学び続けたり、学び方の基礎を身に付けたりすることができるよう、授業の導入を工夫する。見学やインタビュー活動等、仲間と協働して課題を解決する学習活動を積極的に取り入れる。 ②教師が総合的な学習の時間の学び方（課題の設定—情報の収集—整理・分析—まとめ・表現）を理解し、年間の学習計画と総合的な学習の時間で学ぶ事柄を相互に関連付け、教科横断的な学習の基盤を作り、指導計画を立てる。
外国語活動	①主体的にコミュニケーションをとる態度に課題がある。	①相手へ配慮し、距離を確保しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切である。 ②本時で扱う会話表現が、日常のどの場面で使うのかが分かるように、授業の工夫をすることが大切である。	①英語を用いた言語活動を通して、体験的に楽しみながらコミュニケーションを図れるようにする。単元の中で段階的にめあてを設定し、歌やチャンツ、アクティビティの中で動作等を取り入れて行う。学習のめあてや対話時のポイント等の振り返りを行い、次に活かせるようにする。 ②距離を取り、声量に配慮しながら1対1の対話・グループ内での対話など、対話の機会を多く取り入れる。また、会話表現を使ってアクティビティを行うときは、相手意識や目的意識をもたせ、日常の会話表現に近い状況を設定して行う。
道徳	①学習したことを自分のこととして考え、生活の中で生かしていくことに課題がある。 ②自分の考えを基にして、友達同士、気持ちを伝え合ったり、話を広げたり深めたりすることに課題がある。	①日常のどの場面で生かすことができるかを、具体化して指導する必要がある。 ②自分の考えを広げ深めるための、補助発問を工夫する必要がある。	①教材の類似した場面を想起させたり、自身の日常の体験を想起させたりしながら実践できるようにする。 ②児童の考えを、板書等で整理しながら、考えを広げ深めるための発問を選択し、問いかける。考えを揺さぶりながらより深く考えさせる。